

COLOR LCD MONITOR

液晶モニタ・  
ユーザーズマニュアル

LCM-T042A

**Logitec**

# 目次

取扱い上のご注意 .....	1
ごあいさつ .....	3
ご注意 .....	3
付属品の確認 .....	4
<b>第 1 章 製品のご紹介 .....</b>	<b>5</b>
1 . 1 製品の概要 .....	5
1 . 2 各部の名称 .....	7
<b>第 2 章 接続について .....</b>	<b>9</b>
2 . 1 接続の前に .....	9
2 . 2 接続の手順 .....	9
2 . 3 LCD パネルの開閉について .....	13
2 . 4 接続後の作業 .....	14
<b>第 3 章 OSD メニュー .....</b>	<b>15</b>
3 . 1 OSD メニューの起動とメインメニュー .....	15
3 . 2 各項目について .....	17
<b>第 4 章 トラブルシュー - ティング .....</b>	<b>21</b>
<b>ハードウェア仕様 .....</b>	<b>22</b>

# 取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



**注意**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



**警告**

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品を機器に接続するときには、機器の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



LCD パネルが破損した場合は

LCD パネルが破損すると、内部の液体（液晶）がもれることがあります。このような場合には、液体を口にしたたり、吸い込んだり、皮膚につけないように十分ご注意ください。万一、眼や口に入った場合は、速やかに水ですすぎ、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服についた場合は、アルコールなどでふき取り、石鹸で水洗いしてください。



## 注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・機器内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後の機器内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
- ・機器内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



感電注意



高温注意



ケガに注意

分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解しないでください。故障、感電、火災の原因となります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。



分解禁止

内部に異物を入れないでください。

本製品内部に水などの液体や金属片を入れると、故障、感電、火災の原因となります。



その他の  
禁止事項

LCD パネルの取り扱い

LCD パネルに圧力を加えないでください。表示異常の原因となったり、LCD パネルの破損につながります。

LCD パネルの表面に硬いものをあてたり、こすったりしないでください。LCD パネルの傷や破損につながります。



その他の  
禁止事項

使用環境について

本製品は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



その他の  
禁止事項

本製品が汚れた場合は

本製品が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



その他の  
注意事項

本製品を廃棄する場合は

本製品を廃棄する場合は、地方自治体の条例等にしがって正しく廃棄処分を行ってください。



その他の  
注意事項

視力の低下を防止するために

本製品は非常に小型であるため、長時間見つめていると目に負担がかかります。通常は本製品を監視用として使用し、長時間の作業を行う場合には、外部モニタを接続するようお勧めします。



その他の  
注意事項

# ごあいさつ

この度は弊社カラー液晶モニターをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はカラー液晶モニターに関する設定/接続方法、機能/仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社カラー液晶モニターによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

\* MS<sup>®</sup>-DOS、Windows<sup>®</sup>は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。  
Macintosh<sup>®</sup>、Mac<sup>®</sup> OSはアップルコンピュータ社の登録商標です。

## VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

## 付属品の確認

TFT液晶モニター .....	1台
内部ビデオケーブル（金具付き） .....	1本
外部ビデオケーブル .....	1本
取り付けネジ .....	4個
保証書 .....	1枚
液晶モニター・ユーザーズマニュアル .....	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

# 第 1 章 製品のご紹介

## 1 . 1 製品の概要

---

本製品は 5 インチベイ内蔵用の 4 型 TFT カラー液晶モニタです。主にネットワークサーバーなどに接続して、サーバー監視用モニタとして使用することができます。

### 本製品の特徴

5 インチベイ内蔵型ですので、設置にまったく場所を取りません。必要などきだけ LCD パネルを開いて、サーバーなどの状態をチェックすることができます。

4 型にもかわらず、640 ドット × 480 ラインの解像度 (VGA) に対応しています。

表示面左右各 30° のスウィーベル機能を搭載しています。

消費電力はごくわずかです。また、LCD パネルを収納すると自動的に電源が OFF になります。

本製品の調整は画面上にオーバーレイ表示される OSD メニュー (On Screen Display Menu) から行うことができます。



### ご注意

---

液晶モニタは膨大な数の薄膜トランジスタ (TFT) で構成されています。画面上で少数のドットに欠落、変色、発光が見られますが、これは TFT 液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。

---

## 接続可能なパソコン

本製品は以下のようなパソコンに接続して使用することができます。

各社 DOS/V パソコン

日本電気株式会社 PC98-NX シリーズ

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズ

どのパソコンの場合も、以下の条件を満足しなければなりません。

外部からアクセスできる 5 インチベイに空きがあること。

ミニ D-sub15 ピンの RGB コネクタを持っていること。

使用するビデオボード、ビデオドライバ、OS が下表に記載されたディスプレイモードのどれかをサポートしていること。

## サポートされるディスプレイモード

解像度	水平周波数	垂直周波数
640 × 350	31.47KHz	70.08 Hz
640 × 400	31.47KHz	56.00Hz
640 × 480	31.47KHz	59.94 Hz
640 × 480	37.86KHz	72.80Hz
640 × 480	37.50KHz	75.00Hz
640 × 480	35.00KHz	67.00Hz

すべてノンインターレースモードのみ。



### ご注意

本製品はインターレースモードをサポートしていません。



## 1.2 各部の名称

### LCDパネル開閉部

この部分を押し、LCDパネルを開くことができます。開いた状態については次ページをご参照ください。

### 電源表示ランプ

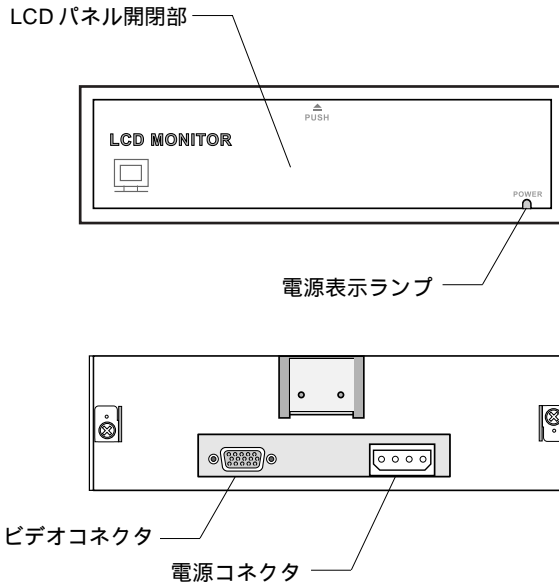
本製品の電源がONになると緑色に点灯し、本製品が省電力モードになるとオレンジ色に点灯します（収納された状態では常にOFFとなります）。

### ビデオコネクタ

付属の内部ビデオケーブル（金具付き）、外部ビデオケーブルを通じて、パソコン本体のRGBコネクタ（ビデオボード）と接続します。

### 電源コネクタ

パソコン本体の内部電源ケーブルを接続します。



「Menu/Select」ボタン

「Enter +」ボタン

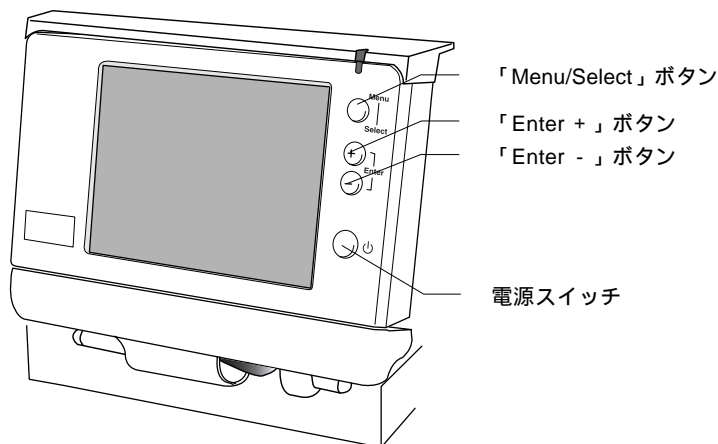
「Enter -」ボタン

本製品の設定を行う OSD メニューの操作で使用します。OSD メニューについては第 3 章をご参照ください。

電源スイッチ

本製品の電源を ON / OFF するスイッチですが、本製品の電源は LCD パネルの開閉にともなって自動的に ON / OFF されるため、通常は使用しません。

LCD パネルを開いた状態



**Point**

ポイント

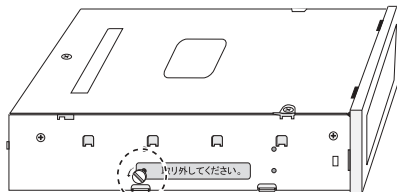
LCD パネルの開閉方法については、第 2 章の「2.3 LCD パネルの開閉について」をご参照ください。

## 第 2 章 接続について

### 2.1 接続の前に



接続する前に、本製品左側面の「取り外してください」というタグがかけられているネジをマイナスドライバ等で取り外しておいてください。このネジを外さないと、LCD パネルを引き出すことができません。



このネジを取り外します

2

### 2.2 接続の手順

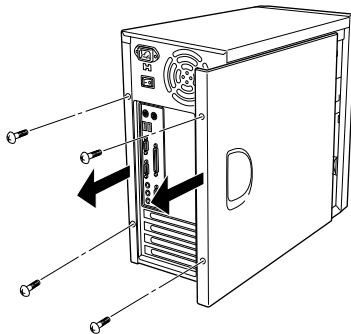
接続は以下の手順で行いますが、5 インチベイの位置や使用方法はパソコン本体によって異なりますので、詳細についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。また、パソコン本体によって取り付けに特殊な金具が必要な機種もありますので、あらかじめ、パソコン本体の取扱説明書で確認してください。



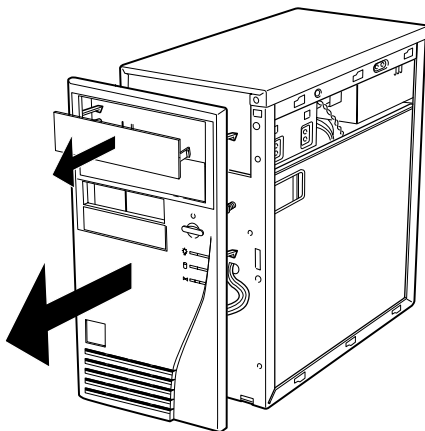
#### 重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源を OFF にして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源が ON になる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

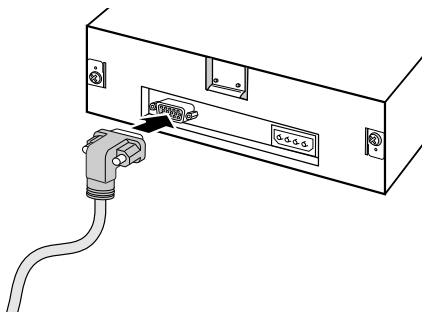
パソコン本体のカバーを取り外します。  
(右のイラストは一例です。取り外し方法についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。)



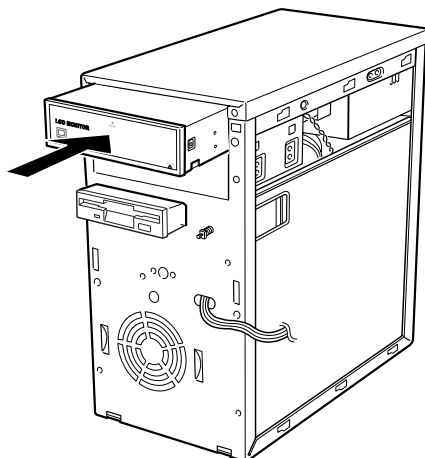
フロントパネルを外し、そこに取り付けられた5インチベイのカバーを取り外してください。  
5インチベイに金属製のシールド板などがある場合は、それも外してください。



本製品背面のビデオコネクタに、付属の内部ビデオケーブル（金具付き）を接続します。  
内部ビデオケーブルは、金具の付いていない方のコネクタを差し込んで、左右のネジでしっかりと固定してください。



本製品を5インチベイに挿入します。内部ビデオケーブル（金具付き）を先に、静かに挿入してください。  
完全に挿入してしまうと、次の作業（ ）がやりにくくなりますので、半分くらい挿入した状態で次の作業を行ってください。（まだ、この段階ではネジ止めしません。）

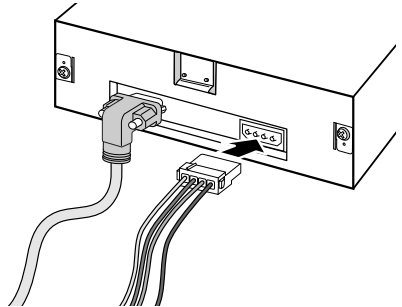




### ご注意

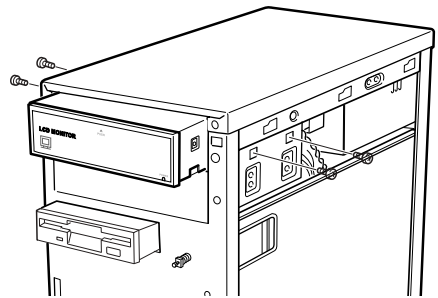
本製品は、CD-ROMドライブなどのようなリムーバブルタイプのドライブのすぐ下には接続しないでください。このように接続すると、本製品のLCDパネルを開いたときにCD-ROMドライブが使用できなくなってしまいます。

パソコン本体の内部電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。このコネクタは正しい方向でしか接続できない形状になっています。



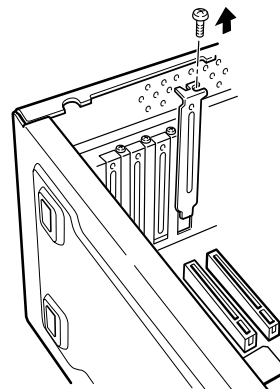
2

本製品を完全に挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横から止めます。



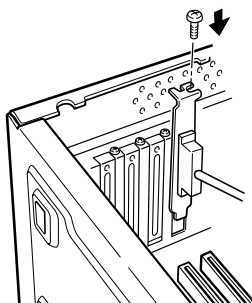
次に内部ビデオケーブルの先の金具を接続します。

パソコン本体のRGBコネクタ(ビデオボード)の近くで、空いている拡張スロットを探し、そのスロットカバーを外してください。



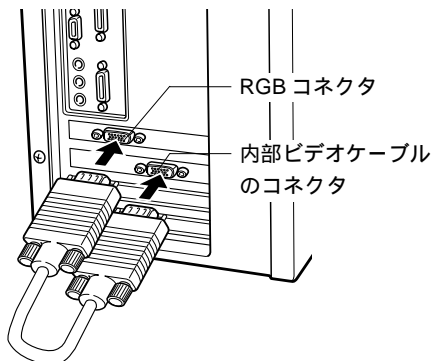
## 2.2 接続の手順

スロットカバーを外した部分に、内部ビデオケーブルの先の金具セットして、ネジで固定してください。

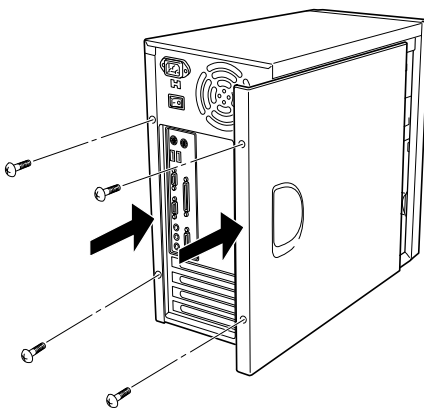


2

パソコン本体のRGB コネクタ（ビデオボード）と内部ビデオケーブルのコネクタを、外部ビデオケーブルで接続します。左右のネジでしっかりと固定してください。



ここまでの作業が終了したら、各コネクタの接続をもう一度確認してください。問題ない場合は、パソコン本体のフロントパネルとカバーを取り付け、ネジで固定します。ケーブルなどを挟み込まないように注意してください。

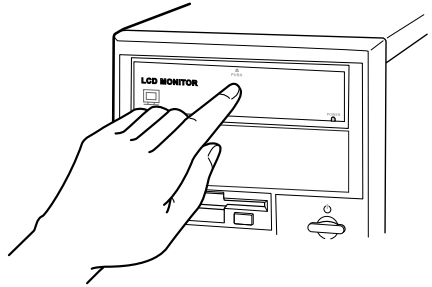


以上で接続は終了です。

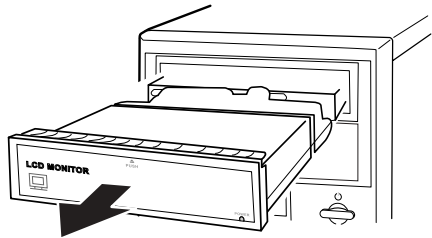
## 2.3 LCDパネルの開閉について

本製品のLCDパネルは以下の手順で開いてください。

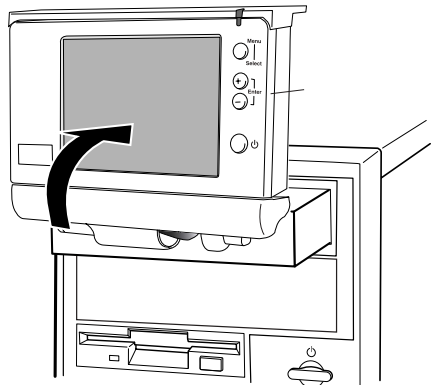
右図のように、本製品のLCDパネル開閉部を押してください。



LCDパネルのロックが外れますので、静かに引き出してください。



LCDパネルをいっぱいまで引き出したら、右図のように上に起こしてください。





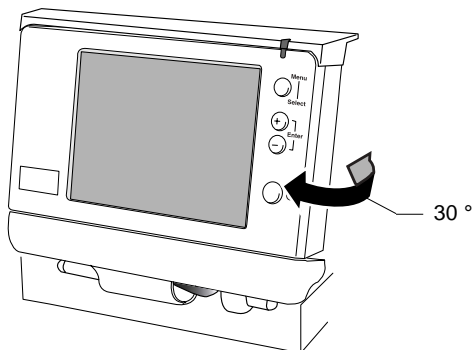
ご注意

- ・ LCD パネルをいっぱいまで引き出さないで起こそうとすると、機器を損傷する場合がありますのでご注意ください。
- ・ LCD パネルを引き出すときには、なるべく表面に触れないようにご注意ください。

LCD パネルを閉じるときには、全ページの手順と逆に、LCD パネルを下に伏せてから静かに押し込んでください。最後にカチッとロックされたことを確認してください。

スウィーベル機構について

本製品はスウィーベル機構によって30°までの回転が行えるようになっています。モニタが見にくい時などに、角度の微調整にご使用ください。



2 . 4 接続後の作業

本製品は、モニタ プラグ & プレイ機能 (VESA™ DDC™ 1/2B 規格対応) を搭載しているためこの機能に対応しているパソコンに接続すると、モニタ情報が自動的に認識されます。初めてモニタとコンピュータを接続して起動したときに設定用のウィザードが表示された場合は、手順にしたがって「次へ」をクリックしていくとプラグ & プレイ モニタとして自動認識され使用可能になります。

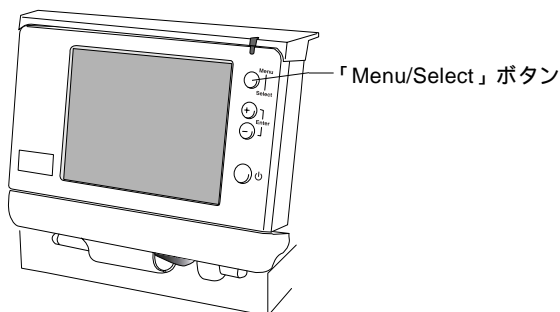


# 第3章

# OSDメニュー

## 3.1 OSDメニューの起動とメインメニュー

本製品の調整は画面にオーバーレイ表示されるOSD (On Screen Display)メニューから行います。OSDメニューを表示したいときには、本製品の「Menu/Select」ボタンを押してください。



パソコンからモニタへ信号が入力されていない場合、OSDメニューは表示されません。

画面に右のようなウィンドウが表示されます。これがOSDメニュー(メインメニュー)です。

ここでは以下の操作をすることができます。

### MENU

- ▶ コントラスト
- ▶ ブライトネス
- ▶ 自動調整
- ▶ 画面設定
- ▶ 色設定
- ▶ 言語選択
- ▶ リセット
- ▶ 情報
- ▶ 終了

「Menu/Select」ボタン 現在選択されている項目の設定画面へ移動します。「終了」が選択されているときにこのボタンを押すと、設定内容が反映されOSDメニューが終了します。

「Enter +」ボタン .....  
「Enter -」ボタン ..... } カーソルを上下に移動します。

これ以降の説明では、「Menu/Select」ボタンを「Menu」ボタン、「Enter +」ボタンと「Enter -」ボタンを、「+」ボタン「-」ボタンとそれぞれ省略して表記します。

メインメニューから実行可能な項目は以下の通りです。

コントラスト	画面のコントラスト（明るいところと暗いところの差）を調整するメニューを表示します。
ブライツネス	画面の明るさを調整するメニューを表示します。
自動調整	現在の画面モードに対して自動調整を行います。この項目はクロックやフェーズなど基本的な項目を全て自動調整しますので、通常の場合はこの項目だけで調整を終了することができます。この項目は画面の四隅がはっきりとわかり、細かい文字やパターンが表示されている画面で実行すると効果的です。
画面設定	水平位置、垂直位置、クロック、フェーズの各項目を調整するメニューを表示します。
色設定	色調整を行うモードへ移行します。
言語選択	OSDメニューの表示言語を選択するモードへ移行します。通常は日本語が選択されている状態でご使用ください。
リセット	全ての設定をクリアして、工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。
情報	現在の設定されている画面モードが表示されます。

**Point**

ポイント

各種設定後、約 10 秒間何もしていないと、自動的に OSD メニューが終了します。この場合も設定した内容は反映されます。

## 3.2 各項目について

### コントラスト

メインメニューでコントラストを選択して「Menu」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。「+」「-」ボタンで値を調整します。決定後、再度「Menu」ボタンを押すと、設定内容が反映されたメインメニューに戻ります。



### ブライトネス

メインメニューでブライトネスを選択して「Menu」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。「+」「-」ボタンで値を調整します。決定後、再度「Menu」ボタンを押すと、設定内容が反映されたメインメニューに戻ります。



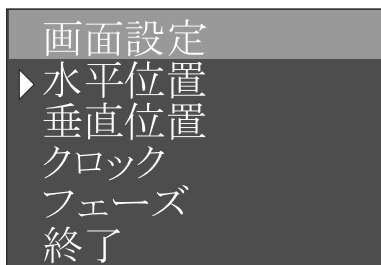
### 自動調整

メインメニューで自動調整を選択して「Menu」ボタンを押すと、「Please Wait」と表示され現在の画面モードに対して自動調整を行います。調整が終わるとメインメニューに戻ります。

Please Wait

## 画面設定

メインメニューで画面設定を選択して「Menu」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。「+」「-」ボタンで項目を選択後、再度「Menu」ボタンを押すと、選択した各項目の設定画面が表示されます。



3

画面設定のメニューから実行可能な項目は以下の通りです。

水平位置	画面の水平位置を調整します。
垂直位置	画面の垂直位置を調整します。
クロック	ビデオ信号のサンプリングタイムを調整します。画面に縦縞が出るときに使用してください。
フェーズ	ビデオ信号のサンプリング周波数を調整します。画面がちらつくときに使用してください。
終了	画面設定のメニューを終了し、メインメニューに戻ります。

各設定画面が表示されたら、「+」「-」ボタンで値を調整し、決定後に「Menu」ボタンを押してください。画面設定のメニューに戻ります。

## 色設定

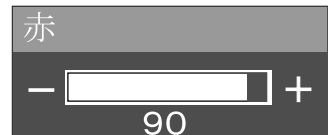
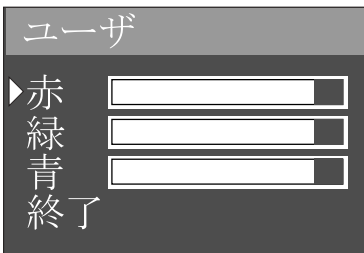
メインメニューで色設定を選択して「Menu」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



画面設定のメニューから実行可能な項目は以下の通りです。

**色温度** 9300K、6500K、5800Kのいずれかを選択後「Menu」ボタンを押すと、選択した色温度で画面が表示されるようになります。色温度が高いと青味が強く表示され、低いと赤みが強く表示されます。

**ユーザー** 「ユーザ」を選択して「Menu」ボタンを押すと下左の画面が表示されます。赤・青・緑の各色選択後に再度「Menu」ボタンを押すと、選択した色の調整画面(下右)が表示されます。「+」「-」ボタンで値を調整し、決定後に「Menu」ボタンを押してください。値が反映され、再度下左の画面に戻ります。色の調整が終わったら「終了」を選択して「Menu」ボタンを押します。



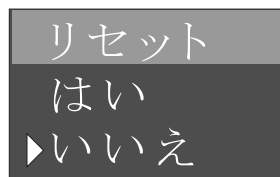
## 言語選択

メインメニューで言語選択を選択して「Menu」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。ここでは、OSDメニューの表示言語を選択できますが、通常は日本語が選択されている状態でご使用ください。



## リセット

メインメニューでリセットを選択して「Menu」ボタンを押すと以下の画面が表示されます。「はい」を選択すると、全ての設定をクリアして、工場出荷時の状態に戻ります。リセット後はOSDメニューは自動的に終了します。「いいえ」を選択するとメインメニューへ戻ります。



## 情報

メインメニューで情報を選択して「Menu」ボタンを押すと現在の設定されている画面モードが表示されます。この画面から設定を変えることはできません。



## 第4章 トラブルシュ - ティング

本製品の電源がONにならない。

- ・パソコン本体の電源の状態、内部電源ケーブルの接続状態を確認してみてください。

画面に「NO INPUT」と表示され、電源表示ランプがオレンジ色に点灯したままになる。

- ・内部ビデオケーブル(金具付き) 外部ビデオケーブルの接続状態を確認してみてください。
- ・パソコンがスリープ状態になっていないかどうかを確認してください。

画面が上半分しか表示されない。

- ・画面モードが「インターレースモード」になっていませんか？本製品は必ず「ノンインターレースモード」でご使用ください。設定の方法はご使用のビデオボード(もしくはパソコン本体)の取扱説明書をご参照ください。

画面が上下左右に偏って表示される。

画面に縦縞が見える。画面にちらつきがある。

- ・第3章を参照して、OSDメニューのメインメニューから「Auto Adjustment」を実行してください。
- ・もし、「自動調整」を行っても症状が改善されない場合は、OSDメニューから手動設定を行ってください。画面の偏りは「画面設定」の「水平位置」、「垂直位置」で調整します。縦縞と画面のちらつきは「画面設定」の「クロック」、「フェーズ」で調整します。詳細については第3章をご参照ください。

画面に「OUT OF RANGE」という文字が表示される。

- ・その画面解像度および水平/垂直周波数は、本製品のサポートしているもの(P.6)ではありません。正しい画面解像度(もしくは水平/垂直周波数)でご使用ください。

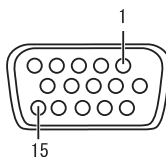
# ハードウェア仕様

機種名		LCM- T042A	
液晶パネル		TFT アクティブマトリクスカラー液晶	
画面サイズ (対角)		4 型	
解像度		640 ドット × 480 ライン	
ドットピッチ		0.126mm	
視野角		左 30° 右 30° 上 20° 下 10°	
輝度		140 cd / m <sup>2</sup> (最大値)	
コントラスト比		250 : 1	
コネクタ形状		Mini D - Sub 15ピン	
同期周波数		水平	31 KHz ~ 38 KHz
		垂直	56 Hz ~ 75 Hz
入力信号	ビデオ信号	R,G,B アナログ 0.7 Vpp/75 (正極性)	
	同期信号	セパレート/TTL (正/負極性)	
環境条件 *1	動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 80 %
入力電圧		DC 12 V ± 5 %	
消費電力	最大	6 W	
	省電力モード	2W 以下	
外形寸法 (mm) 幅 × 高さ × 奥行き		収納時	148 x 42 x 217
		表示時	148 X 130 x 280
質量		1100 g	

\*1 ただし結露なきこと。

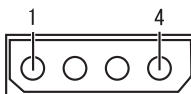
## VGA コネクタ

Pin No	信号名	Pin No	信号名
1.	赤	9.	DDC+ 5V
2.	緑	10.	グラウンド
3.	青	11.	グラウンド
4.	NC	12.	SDA
5.	グラウンド	13.	H- sync
6.	赤グラウンド	14.	V- sync
7.	緑グラウンド	15.	SCL
8.	青グラウンド		



## 電源コネクタ

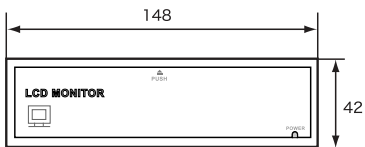
Pin No	信号名
1.	+12 V
2.	グラウンド
3.	グラウンド
4.	NC



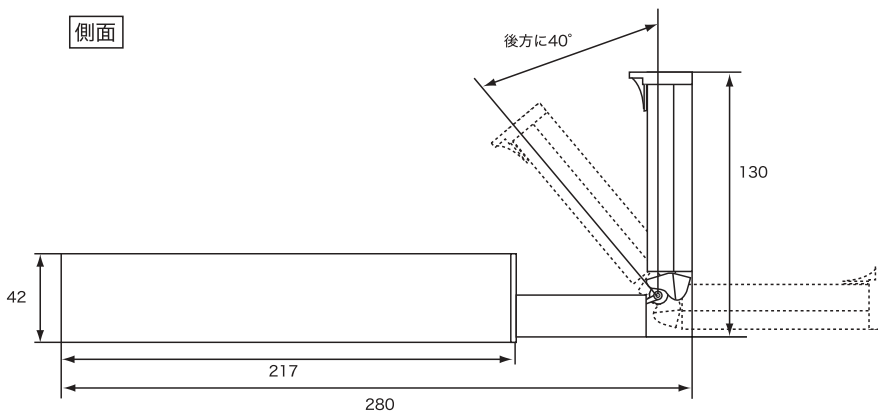


# 寸法図

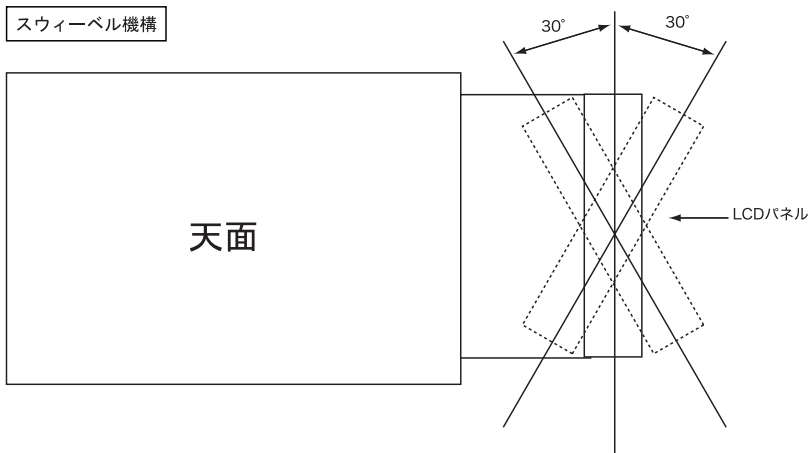
収納時前面



側面



スウィーベル機構





<http://www.logitec.co.jp/>